

まとめ

平成20年度から実施される特定健康診査・特定保健指導では、医療保険者が40歳以上74歳までの方に対し、メタボリックシンドロームに着目した項目を含めた健康診査、そして保健指導が行われることになりました。このことにより医療保険者は、健康管理の点から一人ひとりの個に応じたハイリスクアプローチが重要となります。

その一方で、今回の特定健康診査の対象とはならない40歳未満の方への健康づくりや生活習慣病対策など広く啓発するポピュレーションアプローチも欠かせないものです。

地域や職域などで実施される健康まつりや健康教室など従来のポピュレーションアプローチについても、今後はより対象を明確にして、効果的に進める必要があると思われます。そのためには関係団体や関係機関との連携を図ることにより、限りのある人材や経費などの資源を有効に活用することができるのではないのでしょうか。

愛知県では、生活習慣病対策を総合的に推進するために愛知県生活習慣病対策協議会を設けるとともに、疾患に応じた対策部会を開催し事業の計画、評価を行っています。

今回のアクティブウェルネスサポート事業は、糖尿病対策部会により糖尿病対策としての予防の観点から県民の知識普及啓発を目的に事業化され、実施後の評価について検討がなされました。

今回の事業を含め平成19年度に実施した事業の結果を踏まえて、愛知県生活習慣病対策協議会糖尿病対策部会から糖尿病・メタボリックシンドローム対策を推進していくうえで、次のような提言がなされました。

平成20年度にむけて 愛知県生活習慣病対策協議会糖尿病対策部会からの提言

平成19年度における愛知県の糖尿病対策は、平成20年度からの医療制度改革で重要視される生活習慣病対策を始めとした知識普及などの基盤整備を愛知県・保健所及びあいち健康プラザにおいて実施した。

関係機関・団体と連携し効果的なポピュレーションアプローチを

平成19年度の事業報告からメタボリックシンドロームという言葉の周知は高いものの、予防への行動に移している人は少ないことや若年層になるにつれ健康に関するイベントへの参加経験がないことがわかった。

このことから健康まつりや健康に関する啓発活動を実施するにあたり、「誰に」「何を」「どのように」知らせるかを明確にし、関係機関・団体と連携した効果的なポピュレーションアプローチを図ることがのぞまれる。

栄養成分表示や受動喫煙防止の一層の推進によりヘルスプロモーションの充実を

生涯を通じた健康長寿あいちの実現を目指し保健所においては、外食栄養成分表示店や受動喫煙防止を実施している施設の推進を図っているところである。

今後より一層の推進には、市町村を始め関係機関・団体と連携し推進方策の検討を行うことが大切である。

このことにより施設の充実を図ることが、地域住民のヘルスプロモーションの意識を高めることとなる。

働き盛り世代の男性にメタボリックシンドロームの概念を

平成20年度からは、メタボリックシンドロームに着目した健康診査が実施されるところであるが、特に40歳以上の男性には、このメタボリックシンドローム診断基準に該当する人が多い。そこで、医療保険者を始め市町村や関係機関は、特に該当の多い年代をターゲットにメタボリックシンドロームの概念を普及啓発することが大切である。

アクティブウェルネスサポート事業企画運営会議委員名簿

| 氏 名 | 所 属 |
|-------|---------------------------------|
| 池田 昌子 | 愛知県食生活改善推進員連絡協議会長 |
| 大槻 洋也 | 日本健康運動指導士会愛知県支部長 |
| 河合 美子 | 愛知県国民健康保険団体連合会事業部事業課主幹 |
| 今 哲彦 | イオン株式会社中部カンパニーストアサポート部リーダー |
| 高橋まり子 | (社)愛知県栄養士会理事 |
| 早瀬 智文 | 愛知県健康づくり振興事業団健康科学総合センター健康開発部主査 |
| 吉田 京 | 愛知県健康福祉部技監 |
| 丸山 晋二 | 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課長 |
| 池戸 尚弘 | 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課主幹(生活習慣病対策) |
| 岩佐 智生 | 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課主幹(健康長寿あいち推進) |
| 近藤 良伸 | 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課課長補佐(生活習慣病対策) |

愛知県生活習慣病対策協議会糖尿病対策部会構成員名簿 (平成19年度)

| 氏 名 | 所 属 等 |
|--------|---|
| 小栗 貴美子 | 社団法人愛知県医師会理事(小栗皮ふ科院長) |
| 小山田 一昭 | 愛知産業保健推進センター副所長 |
| 片岡 克樹 | 株式会社ルネサンス ルネサンス名古屋熱田マネージャー |
| 小林 美紀 | 武豊町保健センター主事 |
| 子安 春樹 | 愛知県一宮保健所長 |
| 佐藤 祐造 | 愛知学院大学心身科学部長・心身科学部健康科学科教授 |
| 世古 貴章 | 東邦ガス株式会社人事部安全・健康グループ課長 |
| 津下 一代 | (財)愛知県健康づくり振興事業団健康科学総合センター副センター長兼健康開発部長 |
| 服部 健治 | 名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科准教授 |
| 土方 節子 | 愛知県衣浦東部保健所地域保健課長 |
| 肥田野 等 | 半田市立半田病院長 |
| 山田 純子 | 稲沢市保健センター栄養士 |
| 山本 昌弘 | 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院長 |

アクティブウェルネスサポート事業
報告書

～平成19年度健康長寿あいち推進関連事業～

平成20年3月

愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052)961-2111(代表)

健康日本21 あいち計画

の推進を応援します。



あなたが主役の健康づくり
みんなで応援します
健康づくりは豊かな人生のために

<http://www.pref.aichi.jp/health/abaka/kenkoseppor/index.html>

愛知県